

ENEX2020にてトップテン事業関連の講演を行いました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター(ECCJ)が経済産業省の委託を受けて取り組んでいるトップテン事業に関連し、2020年1月、ENEXにて講演を行いました



ECCJによるプレゼン風景

1. 経産省ブースにおいてトップテン関連の講演実施

テーマ：「IPEEC (国際省エネパートナーシップ) 省エネトップテン - 省エネ大賞を世界へ」

2. 概要

トップテンは旧IPEEC (2019年12月廃止) がG20とEELP (Energy Efficiency Leading Program) の推進を通じコラボした形で運営されてきた事業の一つです。2016年に第1回国際トップテンリストが選考・公表されました。第2回リストは、2019年3月選考終了を受けて、2019年6月にG20 Global Summit on Financing Energy Efficiency, Innovation and Clean Technologyの場で発表されました。第3回国際リストは2020年以降選考される可能性があります。今回の講演は、かかる状況下、どのような形で国際トップテンを選考していくのが妥当かどうかに関し、ECCJの経験してきた、省エネ大賞 (日本) の運営、アセアン省エネ表彰制度 (アセアン) への支援等を踏まえ提言することを試みたものです。

ポイントは、

- 1) 書きやすく、採点しやすい採点基準の構築
 - 2) 国内リストから国際リストを選考する際の、効果的で効率的な方式の策定
- 以上の二点です。

これらの課題に対し、省エネ大賞、アセアン省エネ表彰制度等の特長やECCJがそれらに関わることで蓄積されたノウハウをどう生かすのか。目標は、参加国及び、応募数の増加を図りつつ、コンスタントに国際トップテンを選考していく体制と、選考された案件の普及推進を図るシステムの構築です。以上の諸点については、今後は実務の課題として取り組んでいきます。